

日産におけるメキシコ事業の現状と今後の展望

日産自動車株 経営企画本部経営企画室
 主管 御手洗優美子

中期経営計画「日産パワー 88」

日産自動車株式会社（以下、日産）は1933年に神奈川県横浜市に設立され、現在、日本を含む世界20の国や地域に生産拠点をもち、160以上の国や地域で商品・サービスを提供している。2012年度におけるグローバルの新車販売台数は、4.9百万台。日産はマリーン事業も有しており、連結ベースの従業員は16万人以上となっている。

日産は、「日産」(Nissan)と「インフィニティ」(Infiniti)の2つのブランドに加え、「ダットサン」(Datsun)を第3のブランドとして復活させることを発表した。「日産」の自動車は世界のほぼ全ての主要マーケットに展開している。「インフィニティ」は89年に北アメリカで高級車ブランドとして導入され、今では中東、台湾、韓国、ヨーロッパ、中国、東南アジアおよびラテンアメリカへの販売も行われている。「ダットサン」はインド、インドネシア、ロシアおよび南アフリカにて、14年に販売が始まる予定である

日産は、11年から16年を対象とした6カ年計画である「日産パワー 88」を策定した。これは、新規の市場とセグメントを含む世界市場での成長の加速に主眼においた広範囲にわたる計画である。日産パワー 88の「パワー」とは、ブランドとセールスに注ぐ私たちの力と努力を指し、「88」は、本計画を達成することで得られる測定可能なリターンを意味している。グローバルな市場占有率を8%に伸ばすと同時に、売上高営業利益率を8%に改善し、その後、維持していくことを目標

としている。本計画は6つの戦略を柱に目標達成を目指すものだ。6つの戦略とは、

- ①ブランドパワーの強化
- ②セールスパワーの向上
- ③クオリティの向上
- ④ゼロ・エミッションリーダーシップ
- ⑤事業の拡大
- ⑥コストリーダーシップ

今回は、日産パワー 88の柱の1つである「⑤事業の拡大」に大きく貢献するメキシコ市場の現状と今後の展望を紹介する。

成長著しいメキシコ自動車産業

メキシコ自動車工業会 (AMIA) によると、12年のメキシコの自動車生産台数は、前年と比べ12.8%増の288万5000台で2年連続最高記録を更新した。内訳は、国内向けが12.2%増の48万台、輸出向けが12.9%増の240万5000台。輸出台数は9.9%増の235万6000台と、これも過去最高になった。メキシコは世界で8番目の自動車生産国であり、4番目の輸出国である。一方、国内販売も9.0%増の98万8000台と順調に伸びた。

多くの自動車会社は、メキシコで人気のコンパクトやサブコンパクトセグメントの車を生産してきた。日産だけでなく、アウディ、マツダ、VW(フォ

〈表〉自動車生産の内訳と輸出、国内販売台数

(千台、%)

	生産			輸出	国内販売
	国内向け	輸出向け	全体		
2009年	281	1,227	1,508	1,223	755
2010年	385	1,876	2,261	1,860	820
2011年	427	2,130	2,558	2,144	906
2012年	480	2,405	2,885	2,356	988
伸び率	12.2%	12.9%	12.8%	9.9%	9.0%

(注) 大型トラックを除く。伸び率は2012年の前年比
 (出所) メキシコ自動車工業会 (AMIA)